

『薬剤中止プロトコールで取り組む Medication reconciliation』 に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	集中治療室（以下ICU）では、原疾患に対する薬物療法の外、消化性潰瘍などに対する予防を目的とした投薬や、不眠、せん妄、便秘などの症状緩和を目的とした投薬が行われる。これらの薬剤は、症状の改善などに併せてその必要性を検討する必要がある。しかし、転棟や転科などにより、処方が見直されないまま継続されてしまうことがある。そこで、当院ICUでは予防あるいは症状緩和目的で処方された薬剤の中止基準を設け、集中治療医が処方した薬剤を薬剤師でも中止できるプロトコールを作成した。 本研究では、薬剤中止プロトコールを用いたMedication reconciliationの有用性を評価するために、プロトコール導入前後における薬剤の継続状況を調査する。
研究の方法	集中治療室に入院した患者さんの診療録（カルテ）を用いて、薬剤の処方および継続状況に関して集計する。
対象者	西暦2022年4月1日～2022年9月30日、2023年6月1日～2023年11月30日の間に、当院で集中治療室に入院をされた方
利用する試料/情報	情報等：年齢、性別、入院日数、ICU在室日数、処方歴等
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録等
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	第52回日本集中治療医学会学術集会で発表予定
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2025年3月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 薬剤部/薬剤師/宮田 慎也
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 薬剤部/宮田 慎也